



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月1日

上場会社名 株式会社 フジミインコーポレーテッド
コード番号 5384 URL <http://www.fujimiinc.co.jp>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 鈴木 彰

TEL 052-503-8181

四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,270	△10.2	462	△49.4	479	△47.6	275	△48.7
23年3月期第1四半期	8,100	44.7	913	—	914	—	538	—

(注)包括利益 24年3月期第1四半期 126百万円 (△81.0%) 23年3月期第1四半期 664百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	9.88	—
23年3月期第1四半期	18.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	46,698	—	40,625	—	—	86.4
23年3月期	46,734	—	40,802	—	—	86.7

(参考)自己資本 24年3月期第1四半期 40,351百万円 23年3月期 40,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,600	△9.5	550	△67.5	600	△65.3	400	△64.7	14.32
通期	31,200	1.1	1,800	△35.2	1,900	△32.6	1,300	△28.6	46.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	30,699,500 株	23年3月期	30,699,500 株
24年3月期1Q	2,760,146 株	23年3月期	2,760,146 株
24年3月期1Q	27,939,354 株	23年3月期1Q	28,739,480 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、米国景気の腰折れ懸念や欧州の債務問題、新興国の景気減速感の高まりに加え、国内では3月11日に発生した東日本大震災の影響による経済活動の停滞や夏場の電力不足問題等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。半導体市場は、一般消費者向けを中心とした最終製品の需要減速により、一部に生産調整の動きも見られ軟調に推移しました。

こうした状況下、当社グループでは一丸となって売上拡大とコスト削減に努めたものの、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高7,270百万円（前年同四半期比10.2%減）、うち製品売上高7,196百万円（前年同四半期比9.9%減）となりました。また、利益面では、営業利益462百万円（前年同四半期比49.4%減）、経常利益479百万円（前年同四半期比47.6%減）、四半期純利益275百万円（前年同四半期比48.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメント別売上高、営業利益はセグメント間取引等調整前の数値であります。

日本につきましては、半導体市場全般の需要減少によりシリコンウェハー向け製品、CMP向け製品及びハードディスク向け製品の販売が減少し、売上高は6,120百万円（前年同四半期比12.0%減）、営業利益は664百万円（前年同四半期比39.1%減）となりました。

北米につきましては、ほぼ前年同四半期並みに推移し、売上高は1,423百万円（前年同四半期比3.7%増）となり、コスト削減などにより営業利益は78百万円（前年同四半期比171.4%増）となりました。

アジアにつきましては、主力であるハードディスク向け製品の販売が減少し、売上高は718百万円（前年同四半期比1.3%減）となり、製品構成の影響などにより営業利益は28百万円（前年同四半期比65.0%減）となりました。

一方、欧州につきましては、シリコンウェハー向けポリシング材及びCMP向け製品の販売が増加し、売上高は486百万円（前年同四半期比14.3%増）となったものの、為替の影響などにより営業利益は9百万円（前年同四半期比73.7%減）となりました。

用途別売上の実績は、次のとおりであります。

当社グループの主力となるシリコンウェハー向け製品につきましては、半導体市場全般の低迷を受け、ラッピング材の売上高は850百万円（前年同四半期比10.1%減）、ポリシング材の売上高は1,846百万円（前年同四半期比3.6%減）となりました。

CMP向け製品につきましては、国内外のデバイスメーカーへの出荷が減少し、売上高は2,038百万円（前年同四半期比7.9%減）となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、従来型パソコンの低調な出荷状況などにより、売上高は427百万円（前年同四半期比49.8%減）となりました。

シリコン切断に使用されるワイヤーソー向け製品につきましては、安価な新興国製品による影響などにより、売上高は478百万円（前年同四半期比14.3%減）となりました。

水晶振動子等の研磨に使われる水晶デバイス向け製品につきましては、売上高は127百万円（前年同四半期比15.0%減）となりました。

サファイヤ基板向け製品につきましては、LEDの需要は増大したものの、海外チップメーカーの在庫調整等により、売上高は99百万円（前年同四半期比9.5%減）となりました。

溶射材につきましては、ほぼ前年同四半期並みに推移し、売上高は307百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。

商品につきましては、売上高は73百万円（前年同四半期比35.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、36百万円減少し、46,698百万円となりました。これは主に、たな卸資産が658百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が181百万円、有形固定資産が349百万円、繰延税金資産が143百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、139百万円増加し、6,072百万円となりました。これは主に、未払法人税等が431百万円、賞与引当金が278百万円それぞれ減少したものの、支払手形及び買掛金が748百万円、預り金などその他の負債が124百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、176百万円減少し、40,625百万円となりました。これは主に、利益剰余金が208百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の見通しにつきましては、震災により寸断されたサプライチェーンの復旧が進み、生産活動の持ち直しの動きから、今年度後半以降は復興需要の本格化による国内景気の回復が期待されておりますが、半導体市場につきましては依然としてパソコンなどの最終製品の世界需要が伸び悩み状況にあります。

未定としておりました平成24年3月期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、以下の通りいたします。

本日付で別途「業績予想に関するお知らせ」を開示しております。

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	14,600	△9.5	550	△67.5	600	△65.3	400	△64.7	14	32
通期	31,200	1.1	1,800	△35.2	1,900	△32.6	1,300	△28.6	46	53

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

当第1四半期連結会計期間より、連結子会社4社は決算日を12月31日より3月31日に変更しております。決算期変更に伴う当該子会社の平成23年1月1日から平成23年3月31日までの3ヶ月間の損益は、利益剰余金の増減としております。

なお、当社は、台湾市場における当社CMP製品の積極的拡販と技術支援、新規需要や顧客ニーズへの対応力強化等を図るため、子会社を設立することいたしました。

設立する子会社の概要は以下のとおりであります。

- (1) 商号 : 臺灣福吉米股份有限公司
FUJIMI TAIWAN LIMITED
- (2) 代表者 : 青木 利一郎
- (3) 所在地 : 台湾 苗栗縣銅鑼鄉 新竹サイエンスパーク 銅鑼園區(予定)
- (4) 設立日 : 平成23年8月上旬(予定)
- (5) 事業内容 : 研磨材等の開発・製造・販売
- (6) 資本金 : 設立時 200百万新台幣ドル
- (7) 出資比率 : 当社100%

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,468	12,561
受取手形及び売掛金	6,820	6,639
有価証券	5,303	5,300
商品及び製品	2,647	2,965
仕掛品	1,033	1,146
原材料及び貯蔵品	1,367	1,594
繰延税金資産	632	488
その他	280	177
貸倒引当金	△157	△155
流動資産合計	30,396	30,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,963	6,837
その他（純額）	6,955	6,732
有形固定資産合計	13,919	13,569
無形固定資産	305	292
投資その他の資産		
投資有価証券	98	105
繰延税金資産	95	96
その他	1,929	1,926
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	2,113	2,118
固定資産合計	16,338	15,980
資産合計	46,734	46,698

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,905	3,654
短期借入金	81	80
未払法人税等	476	44
賞与引当金	595	317
役員賞与引当金	—	12
その他	1,655	1,779
流動負債合計	5,714	5,889
固定負債		
長期借入金	61	20
繰延税金負債	8	6
退職給付引当金	120	126
その他	27	29
固定負債合計	217	182
負債合計	5,932	6,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,069	5,069
利益剰余金	36,069	35,861
自己株式	△3,792	△3,792
株主資本合計	42,100	41,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	35
為替換算調整勘定	△1,597	△1,576
その他の包括利益累計額合計	△1,566	△1,541
新株予約権	61	60
少数株主持分	205	214
純資産合計	40,802	40,625
負債純資産合計	46,734	46,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	8,100	7,270
売上原価	5,560	5,099
売上総利益	2,540	2,170
販売費及び一般管理費	1,626	1,708
営業利益	913	462
営業外収益		
受取利息	14	14
廃棄物処分益	8	10
その他	10	9
営業外収益合計	33	34
営業外費用		
支払利息	3	2
為替差損	28	12
減価償却費	0	3
その他	0	0
営業外費用合計	33	17
経常利益	914	479
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	38	—
新株予約権戻入益	1	0
特別利益合計	42	0
特別損失		
固定資産除却損	1	0
投資有価証券売却損	9	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9	—
特別損失合計	21	0
税金等調整前四半期純利益	935	479
法人税、住民税及び事業税	65	79
法人税等調整額	326	120
法人税等合計	392	200
少数株主損益調整前四半期純利益	543	278
少数株主利益	5	2
四半期純利益	538	275

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	543	278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	3
為替換算調整勘定	157	△156
その他の包括利益合計	120	△152
四半期包括利益	664	126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	647	129
少数株主に係る四半期包括利益	17	△3

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	5,746	1,199	728	425	8,100	—	8,100
(2) セグメント間の 内部売上高	1,207	173	—	—	1,381	(1,381)	—
計	6,954	1,373	728	425	9,481	(1,381)	8,100
セグメント利益	1,090	28	80	35	1,235	(321)	913

(注) 1. セグメント利益の調整額△321百万円は、セグメント間取引消去31百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△255百万円及び棚卸資産の調整額△97百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	4,877	1,186	718	486	7,270	—	7,270
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,242	237	—	—	1,480	△1,480	—
計	6,120	1,423	718	486	8,750	△1,480	7,270
セグメント利益	664	78	28	9	779	△317	462

(注) 1. セグメント利益の調整額△317百万円は、セグメント間取引消去26百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△296百万円及び棚卸資産の調整額△47百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。